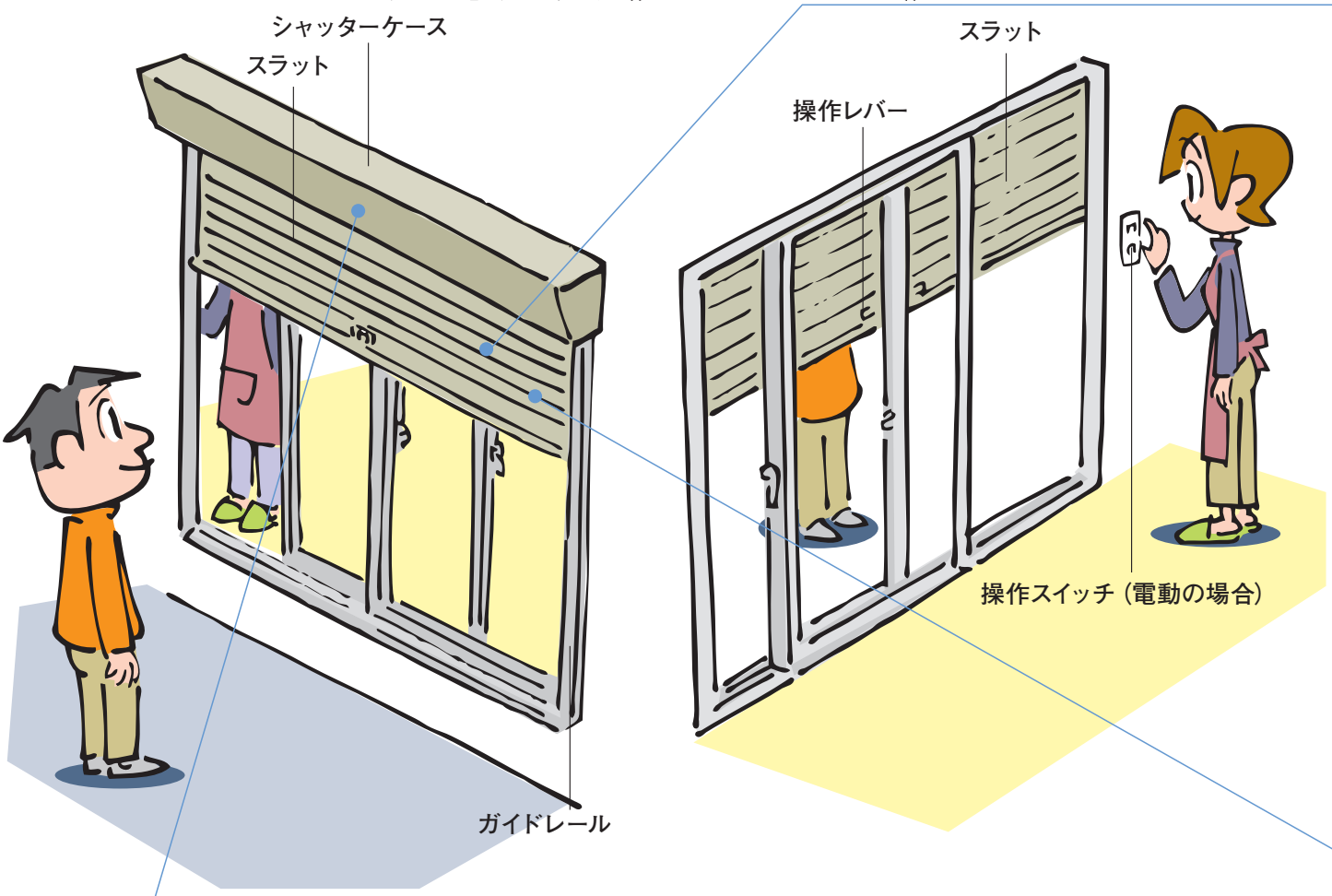
外部建具《シャッター》



現象 1　途中で止めても、ゆっくりと下がってくる

なぜこうなるの？（原因）

バネの寿命が考えられます。また他の部品なども傷んでいることが考えられます。（手動シャッター）
ブレーキユニットが消耗しています。（電動シャッター）

メンテナンスをしないとこうなる（劣化が進行した場合）

このまま放っておくと、途中で止めることができず開けた状態から、少しずつ下に下がってきます。

メンテナンスの方法

シャフトをグリスアップする。

ガードレール内にある古いモヘアを外し、新しいものと交換する。

バネシャフトの交換や全体の調整が必要です。手動シャッターは 10 年程度で重くなり、開閉がスムーズにできなくなります。電動シャッターは電動部品や消耗品の交換も必要です。10 年目を目処に作動調整、部品交換を行いましょう。

現象 2　開閉時にキーキーと音が鳴る。またはドンドンと音が鳴る

なぜこうなるの？（原因）

ガイドレールに砂やホコリがたまったままになると、開閉が重くなり、キーキーと音が発生します。ドンドンという音はとくに電動シャッターの場合で途中で引っかかっていることが考えられます。

メンテナンスをしないとこうなる（劣化が進行した場合）

放っておくと、開閉ができなくなり、部品交換だけでなく、シャッターそのものの交換が必要になります。

メンテナンスの方法

ガイドレールに潤滑剤を吹きかけます。とくにガイドレール内のモヘア部分には砂ボコリがたまりやすいので、そのホコリをよく取り除き潤滑剤（シリコンスプレー）を塗布します。

現象 3　シャッターの表面が錆びてきた

なぜこうなるの？（原因）

シャッターの表面部分は、一般的に鋼製に焼付塗装です。そのため海の近くでは、シャッターの表面が錆やすくなります。小さなキズを放っておくと錆が広がります。

メンテナンスをしないとこうなる（劣化が進行した場合）

小さなキズから錆が広がります。小さなキズや錆を見つけたら、すぐに塗料で補修をしましょう。放っておくとシャッターの表面部分（スラット部分）の交換が必要になります。

メンテナンスの方法

錆を発生させないためには、水洗いやふき掃除など日頃のお手入れが必要です。小さな錆を見つけたらすぐに補修しましょう。とくに海岸エリアでは潮風により建物の金属部分に塩分が付着し、錆が発生しやすくなります。雨のかからない部分は塩分が流されず、堆積しやすくなるので、こまめな水洗いが必要です。

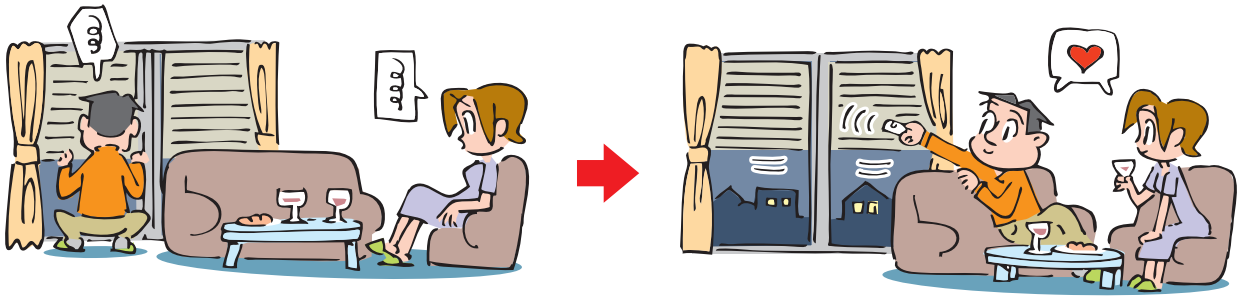
よくある質問

Q1 日頃のお手入れについて

A１．シャッターはいつもきれいにしておく事が錆させず（腐食させず）長持ちさせる一番の方法です。３ヶ月に一度くらい、柔らかい布で水ぶきして表面のホコリをふき取ります。落ちにくい汚れは中性洗剤をスポンジや柔らかい布につけて落とします。その後は洗剤をよく洗い流してください。硬いブラシやたわしを使うと、錆の原因になるキズをつけることになりますので、注意が必要です。

Q2 手動を電動にしたいのですが？

A２．各住宅メーカーで対応品を用意しています。ご相談ください。



Q3 シャッターを長持ちさせるコツは？

A 3. シャッター表面の汚れを落とした後に、表面に金属ワックスやカーワックスで磨くとツヤが保てます。また水切れもよくなります。
手動シャッターで開閉する場合は、シャッターの中央部分を持って開閉してください。端を持って開閉するとバランスが悪くなり、しだいに閉まりが悪くなります。
シャッターの開閉は頻繁に行ったほうが長持ちします。
シャッターは機械製品ですので、基本的には毎日開け閉めをして動かしていただいたほうが長持ちします。
また、シャッターを長時間にわたり開け閉めしない場合、シャッターボックス内に虫や鳥、コウモリなどの小動物が入り込み巣をつくることがあります。

豆知識

塩害錆対策のお手入れ注意喚起

海岸に近い地域では、潮風により建物の金属部分に塩分が付着し錆びやすくなります。これを防ぐには定期的に水洗いをして塩分を除去する必要があります。とくに雨がかからないバルコニー下などは塩分が流されず、堆積しやすくなっています。海岸近くの建物では５年程度で錆びて表面（スラット）の交換が必要なものもあります。

落雷での動作不良について

近くで落雷があると、何かの拍子で電気がシャッターまで流れ込むことがあり、スイッチボックス内のヒューズが飛んだり、モーターが壊れたりすることがあります。この場合はメーカーでの修理が必要となります。

電動シャッターが下りすぎてしまう。下りきらない

リミット調整が狂っていると適正な位置でシャッターが止まらなくなります。このような場合は、リミット調整を行い直します。リミット調整の方法については付属の取扱説明書を参照ください。

電動シャッターのモーター部分には水をかけない

ホースなどでシャッターボックスの下部から、内部にあるモーターに向けて水をかけないでください。漏電する恐れがあります。

停電時の電動シャッターの使用方法

電動シャッターは、停電時には当然動かなくなります。その際は、手で開閉することができます。取扱説明書にしたがって作業を行ってください。